



月根尾

11月

240号

～「月根尾」とは、学校のある地域の古名「突根尾原」に由来する地名です～

最高賞に当たる

『読書体験記コンクール』で 優良賞を受賞！

第41回全国高校生読書体験記コンクール島根県審査

「読書体験記コンクール」では、本との出会いによって自分の中にどんな変化が起きたのか綴る作品を募集されています。

片地さんは、高校野球が好きで惹かれたという本『やる気にさせる 高校野球監督の名言ベスト66』（ベースボール・マガジン社 田尻賢誉著）の中にある「小さなことに全力で取り組み、確実にする子は間違いなく大きな仕事ができる」という名言が、あることに繋がると感じたそうです。

それは、5歳から始めて現在も続けている「神楽」。神楽では、舞い手に男性が選ばれることが多く、主役になれない悔しさがあったそうです。しかし、この名言に出会い、心の中に持ちながら練習を続けたところ、認められるようになったという片地さん。今年の7月に行われた「高校生の神楽甲子園」でも、飯南高校の神楽愛好会の主役を好演し、個人名を挙げて評価されていました。



▲片地ことのさん



そういった体験や支えてくれる人への感謝の気持ちを『ことだま』という作品に綴り、言葉の持つパワーを読み手に伝えました。片地さんは「『ことだま』を読んだ人に神楽の魅力を知ってほしいし、名言に救われたので、そういった体験をしてほしい。」と話していました。

『ことだま』は、県内13校、2441点の応募作品の中から最高賞に当たる「優良賞」に選ばれました。この後、各都道府県で選ばれた「優良賞」47編が、中央選考会（全国審査）に送られることになっています。

報道部

10/3-4

第25回島根県高等学校総合文化祭放送部門島根県大会

【朗読部門】5名出場

板垣 颯哉 「戸田雅之／桜樹」 **優秀賞**

錦織 快 「ラフカディオ・ハーン／葬られた秘密」 **優良賞**

【アナウンス部門】4名出場

小野田 花菜 「十人十色の人生」 **優良賞**

【ビデオメッセージ部門】1作品出品

藤原 葉月 「発信 地域と高校をつなぐ」 **優良賞**



この結果

板垣さんが8月に東京で開催される

第46回全国高等学校総合文化祭への出場権を獲得!!

板垣さん、錦織さん、小野田さん、藤原さんが2月に広島で開催される

第7回中国地区高校放送コンテストへの出場権を獲得!!



野球部

島根県出雲地区高等学校野球一年生大会 **10/16** **10/23**

(出雲農林高校、大東高校の1年生と合同チームで出場)

- 【1回戦】出雲農林・大東・飯南 12-6 出雲
- 【準決勝】出雲農林・大東・飯南 8-7 三刀屋
- 【決勝】出雲農林・大東・飯南 4-3 出雲北陵・出雲商業

優勝!!



島根県高等学校野球一年生大会 **11/7**

- 【準決勝】出雲農林・大東・飯南 3-4 矢上

ベスト4

剣道部

10/23

島根県高等学校剣道選手権大会

- 【男子個人】5人出場 1回戦敗退
- 【男子団体】勝ち抜き戦
- 1回戦 飯南(1人残り) O - X 出雲工業
- 準々決勝 飯南 X - O 出雲西(5人残り)

県大会 男子団体戦で10年ぶりのベスト8!



茶道同好会

11/7

来島文化祭でお茶席を設けました

部長の近藤さんは、「お点前を披露することができなくて残念だったが、地域の方にお茶を飲んでもらう機会ができて嬉しかった。直に交流でき、反応を感じられて楽しかった。」と話していました。たくさんの地域の方がお茶席に来てくださり、予定していた数が時間内になくなりました。ありがとうございました!

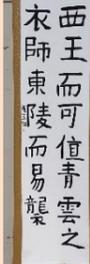


書道同好会

10/21-24

第54回島根県高校書道展

1作品を出品しました。



テニス部

10/30

島根県高等学校新人テニス大会(団体戦)

- 【1回戦】飯南 4-1 出雲西
- 【2回戦】飯南 2-3 松江北

ベスト8



バレーボール部

11/5

島根県高等学校バレーボール選手権大会

- 【1回戦】飯南 2-1 遼摩
- 【2回戦】飯南 0-2 松江南



卓球部

11/4-5

島根県高等学校卓球新人大会

- 【男子シングルス】5名出場
- 【女子シングルス】4名出場
- 【男子学校対抗予選1次リーグA】3位
- 【女子学校対抗予選1次リーグd】5位



全学年

学び方講座

「自分に合った!自分の強みを生かした!学習(生活)の仕方を考えていこう!」

10/13

島根大学大学院教育学研究科の宮崎紀雅先生を講師にお招きしました。宮崎先生の講座の中で、様々なクイズのような体験を通して、生徒は自分の脳タイプや特性に気づきました。更には、その脳タイプに合った学習の仕方も教えてもらいました。

生徒からは、「自分の新たな可能性や考え方が広がった。自分に合った勉強法を定着させていきたい。」
「今まで自分の癖が気になっていたが、そういった勉強に関する不安がなくなった。自分なりの考え方やノートの取り方をしていきたい。」
「人には無い特性を持っているから自分は変なんだと思うのではなく、人には無い特性だからこそ、その分野を伸ばしていきたいと思った。他の人には無い強みをこれからも探して自分の強みをもっと増やしていきたい。」
「人それぞれタイプが違い、いろいろな特性があるので、それを理解することが大切だと思った。」などの感想がありました。

宮崎先生は、「脳の癖はみんな違い、弱み・強みがある。弱みを補って強みを出し合いながら良い集団づくりをしてほしい。」と話しておられました。自分の特性に気づくだけでなく、それぞれの違いを認め合う大切さも学びました。

今後、自分のタイプに合わせて家庭での学習の仕方や学校での授業の受け方を工夫し、役立てていってほしいと思います。



▲何に見えるかな?見える・見えないで特性が違います

3年1組

生命地域学

課題研究 中間発表会

10/22

今年も【笑顔あふれるまち飯南町】を大きなテーマとし、3年1組の生徒が10班に分かれて5月から課題研究を行っています。中間発表会では、自分達の考える地域課題に対する解決策を企画書にまとめ、それを中心に発表しました。

その中で、中間発表会にお招きした地域の皆様からたくさんの意見・質問をいただきました。質問に答えていく中で、自分たちの研究について足りない部分や考えていくべきことが見えてきました。

最終発表会は12月。今回の中間発表でいただいた質問・意見をもとに研究を深めていきたいと思ひます。



▲竹を活用して燈籠づくりにチャレンジ

▲廃材を活用して傘立て・傘掛け作り



▲ジビエ料理を特産品に! 角煮を試作



▲ブルーベリーを使用したこれまでにない料理作りブルーベリー味噌汁?

全学年

ロードレース

10/26

秋晴れの絶好のロードレース日和となりました。開会式では、体育委員長が「2・3年生は、昨年度のタイムを越えられるように頑張りましょう!」と挨拶してくれました。

来島保育所の子ども達や地域の方から声援を受け、出走者全員が無事にゴールまで完走しました。



＼声援をありがとうございました!／



▲上位入賞者の皆さん ~おめでとうございます!~

毎年、連携中学校の生徒と共にR5 4ボランティア清掃を行っています。区間ごとに高校生がリーダーとなり、施設や事業所に電話依頼をしたり清掃活動の計画を立てたりして当日を迎えました。今回は、残念ながら頓原中学校は不参加でしたが、赤来中学校1年生と本校2年生が協力して国道5 4号線沿いや飯南町内の施設の清掃活動を行い、きれいにすることができました。



生徒からは、「これから公共の場を使う時は、使う前よりきれいな状態にして帰りたいと思った。」「地域のためになるというのは、とても達成感があった。これからも地域とのつながりを大切にしていきたい。」「学校行事以外でも、様々な形で積極的にボランティア活動をしたい。」などの感想がありました。

今後、町内の施設をきれいに使っていこう、環境をきれいに保っていこうと意識した生徒が多くいたことが感想から分かりました。また、定期的に掃除して下さっている地域の方がおられることに感謝の気持ちを持った生徒もあり、様々な気づきがあるととても良いボランティア清掃となりました。

1年生 飯南町伝統文化体験学習 10/28

『飯南町大しめなわ創作館』から、講師として6名の方にお越しいただきました。

はじめに、大しめ縄の製作・奉納の様子をDVD視聴し、飯南町大しめなわ創作館の那須さんからしめ縄の歴史についてお聞きしました。出雲大社の神楽殿に奉納されている日本一のしめ縄が飯南町で作られるようになった由来や、使われている稲わらの種類などとても詳しく教えてくださいました。また、しめ縄が日本国内だけでなく、海外からも注文が来ることをお聞きし、驚いたという生徒がたくさんいました。

その後は、「しめ縄飾り作り」や「しめなわ検定」に挑戦しました。わらをなう作業は難しかったという生徒もいましたが、創作館の方々に丁寧に教えていただき、一人一人が一本の縄を作り上げました。その縄で輪じめを作り、自分の好きな短冊や飾り紐をつけて、しめ縄飾りができあがりました。



生徒からは、「初めて知ったことがたくさんあった。伝統のすごさやあんなに大きなしめ縄を人の手で作るという技術のすごさに感動した。」「たくさんの時間をかけてたくさんの人が関わってできた大しめ縄だと知ると、また違った見方になった。」「日本一、もしかしたら世界一のしめ縄をこの飯南町で作っていることをとても誇りに思った。」などの感想がありました。

また、「今後も伝統文化に触れていきたい」「伝統文化を残していくために何かしていきたい」「この素晴らしい伝統文化をなくさないために、私達若者から魅力を発信していきたい」という感想もあり、那須さんが仰っていた、「飯南町の文化や伝統技術を後世に伝えることを目的としている」という想いを受け取っていた生徒がたくさんいたことも分かりました。

12月の主な行事予定

- 2日(木) 飯南町ふるさとシンポジウム
- 3日(金) 球技大会(1・2年生)
- 20日(月) 保護者面談(～27日)
- 23日(木) 終業式
壮行式(スキー部)
(3年生試験発表)
- 27日(月) 冬季補習(～28日 3年2組)

